



「平和パスポート」

被爆80周年 第37回原爆展 “Peace Week” イベント

8/1~8/7

会場:東広島市市民文化センター

展示室マスコット

テツ



問合せ先

原爆被爆資料展示室

若山 : 090-6409-8889

8/1(金)~7(木)

原爆被爆資料展示室(サンスクエア図書館となり)

第37回原爆展 企画展示

「戦争の歴史から私たちの未来を考えよう」

*受付でスタンプを押してもらいましょう

展示室の記帳ノートにお名前を書いてください

10:00~17:00(8/7は16:00まで)

8/1(金)~7(木)

市民文化センター2階展示コーナー(展示室のとなり)

「新生学園の歩みパネル」「平和学習バス報告パネル」「出前講座報告パネル」

*受付でスタンプを押してもらいましょう

10:00~17:00 (8/7は16:00まで)

8/2(土)13:30~15:00

市民文化センター2階 研修室②

「被爆体験伝承者が語る ~英語でつなぐ記憶と平和~」

*甲込みが必要です詳しくは、東広島市教育文化振興事業団ホームページへ
《平和パスポートにあるQRコードから》

8/2(土)

13:30~15:00

8/3(日)13:00~15:30

市民文化センター アザレアホール

「被爆80周年&平和・非核兵器都市宣言40周年 特別記念イベント」

「戦後、そして今を生き抜く子どもたち」

~戦争の孤児たちを支え続けた新生学園・園長に聞く~



上栗哲男氏



出山知樹氏

80年前の原爆投下により焦土となった広島に、とり残された子どもたち・・・戦後、宇品の港へアジアの植民地から引揚げてきた栄養失調、瀕死の状態の子どもたち・・・都会の空襲で焼け出され広島まで流れてきた子どもたち・・・どの子も親を亡くし孤児になっていた

終戦の年の10月、一人の若者、上栗頼登氏の熱意から、戦争の犠牲者である子どもたちを救おうと焦土の広島に孤児収容所が誕生した。後に東広島市に移転し今も続く児童養護施設「広島新生学園」である。

孤児収容所時代の話を中心に、現園長上栗哲男氏と、

平和活動をライフワークとするNHKアナウンサー出山知樹氏との対談から、

子どもたちが担う未来について一緒に考えてみませんか

*席数に限りがあります

*受付でスタンプをもらってください *詳しい内容は、チラシをみてください

8/6(土)13～15:00 市民文化センター2階 研修室②

かもこうせい へいわがくしゅう ほうこくこうりょうかい
賀茂高生とふいかえる「平和学習バス報告交流会」



*席数に限りががあります*受付でスタンプを押してもらいましょう

8/6(水)
13:00～15:00

13～15:00 市民文化センター2階 研修室②

てやまともき しじしゅせいさくえいが (ようえいかい)
「出山知樹氏自主制作映画の上映会」



*映画の内容はチラシをみてください

*席数に限りががあります*受付でスタンプを押してもらいましょう

8/4(月)・5(火)・7(木)
13:00～15:30

: 8/4(月)「明子」 : 8/5(火)「ヒロ子の日記」 : 8/7(木)「運命の背中」

7月～11月のどこかで

げんぱくび ぼくしりょうてんじしつ できえてんじ
原爆被爆資料展示室 出前展示

せんご しゅうねん せんそう げんぱく まち せん
「戦後80周年 戦争・原爆とわたしたちの町パネル展」



しりつとしょかん ぜんかん いちぶちいき
市立図書館(全館)、一部地域センター

まどぐち
窓口でスタンプを押してもらいましょう

場所と日にちは
決まり次第
お知らせします



「平和パスポート」

“Peace Week”のあとに . . . まだイベントがあるよ!

会場:東広島市市民文化センター

8/9(土)
14:00～16:30

9/6(土)
13:30～15:30

9/6(土) 市民文化センター2階 研修室②

ユースイベント

「みんなで平和の種を見つけよう」

もうしこ ひつよう
*申込みが必要です



詳しい内容は東広島市教育文化事業団
ホームページへ

《平和パスポートにあるQRコードから》

8/9(土) 市民文化センター2階 研修室②

「みんなでピースアートづくり」

もうしこ ひつよう
*申込みが必要です

詳しい内容は東広島市教育文化事業団
ホームページへ

《平和パスポートにあるQRコードから》



PEACE WEEK企画
(平和パスポート対象イベント)

2025. 8.2 (土)
13:30~15:00

被爆体験伝承者が語る ~英語でつなぐ記憶と平和~

被爆体験伝承者の方から御堂義之氏の被爆体験や被爆後の生きざま等について英語で講話をしていただきます。過去から未来へ平和をつなぐ貴重な時間です。

【場所】 市民文化センター2階 研修室2
(東広島市西条西本町28-6)

【定員】 30名程度 (多数の場合抽選)

※受講決定者のみ抽選後通知します

【締切】 7月22日 (火) 必着

【申込】 ファックス、メールまたは電子申請にて

下記の必要事項をご記入ください

①講座名 ②郵便番号・住所 ③名前 (ふりがな) ④
電話番号⑤学生の方は学年

申し込み申請は
こちらから→



【申し込み&お問い合わせ先】
(公財)東広島市教育文化振興事業団
(東広島市西条西本町28-6)
Mail manabi@hhface.org
TEL (082)421-1160
FAX (082)421-1170

PEACE WEEK企画
(平和パスポート対象イベント)

2025

Saturday, 2nd August

13:30~15:00

Atomic Bomb Legacy Successor shares the tragedy of Hiroshima for Peace

※English available

【Location】 Shimin Bunka Center 2Fl., Rm#2

市民文化センター（しみんぶんかせんたー）2階（かい）Rm#2

（Higashihiroshima-shi Saijo Nishihonmachi 28-6/東広島市西条西本町28-6）

【Capacity】 30 people (If many apply, selected participants will be chosen by lottery.)

*Only successful applicants will be notified after the application deadline

【Application deadline】 22nd (Tue) July

【How to Apply】 Fax, email or QR code

Please complete the following:

- ① Course Name
- ② Postal No/Address
- ③ Name(with Furigana/ふりがな)
- ④ Phone No.
- ⑤ Grade for student (*if you are student)

Application QR Code→



<https://forms.gle/tdq7W8Y1Mg8afTt16>

【Inquiry/Apply】

(公財)東広島市教育文化振興事業団

(東広島市西条西本町28-6)

email : manabi@hhface.org

TEL : (082)421-1160

FAX : (082)421-1170

被爆80周年／平和・非核兵器都市宣言40周年



原爆展PeaceWeek特別記念イベント

戦後、そして今を生き抜く子どもたち

戦争の孤児たちを支え続けた 新生学園・園長に聞く

2025年 (令和7年) **8月3日(日)** 13:00~15:30 (開場12:30)

東広島市市民文化センター アザレアホール

東広島市西条西本町28-6 サンスクエア東広島 3階

申込不要
席数に限りがあります

原爆展PeaceWeek事業
詳しくはこちら



広島新生学園の園長上栗哲男さんは孤児収容所時代の学園に生まれ、戦争孤児たちと共に育ちました。本会ではNHKアナウンサーの出山知樹さんとともに戦後を振り返りながら、今を生きる子どもたちや子どもたちの未来についてお話しいただきます。

世界が揺れ動いている今、「自分ごと」として平和について考えてみてください。



広島新生学園 園長
上栗哲男さん

1949年広島市生まれ。学園の創始者上栗頼登氏の長男。同志社大学卒業後、1972年、学園が広島市から東広島市に移転した翌年に入職。1995年に新登さんが亡くなり2代目園長に就任。広島福祉専門学校の非常勤講師も務める。園内には原爆慰霊碑、引き取り手のない孤児の遺骨を納める納骨堂があり、毎年8月6日には園児たちに当時の様子を伝え続けている。学園創立の原点は原爆投下にある。



NHK神戸放送局アナウンサー
出山知樹さん

1969年神戸市生まれ。金沢大卒業後1992年NHK入局。和歌山、広島、東京、大阪、神戸で勤務し、中でも広島は4回計16年に及ぶ。広島局赴任中に原爆をテーマにテレビ・ラジオの番組を制作。被爆者のさまざまな思いを聞いた経験をもとに、2009年自主映画「運命の背中」を制作。その後も「ヒロ子の日記～原爆ドーム保存秘話」や「MEIKO～被爆者である母のこと・南方特別留学生との友情」などを自主制作している。

主催／東広島市原爆被爆資料保存推進協議会 共催／東広島市、東広島市教育文化振興事業団

後援／広島県、東広島市教育委員会、中国新聞社、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、プレスネット、KAMONケーブル、FM東広島89.7MHz、お問い合わせ／東広島市原爆被爆資料保存推進協議会 担当/若山 090-6409-8889



8040 平和パスポート

東広島市では、未来を担う子どもたちが平和について考えるきっかけとなるよう「平和パスポート」を作成しました。主に7月から11月に開催される東広島市内の平和関連イベント等が紹介されています。イベント等に参加すると、パスポートにスタンプやサインをもらえるほか、そこで学んだことや感想を書き込むことができます。

(上記イベントも「平和パスポート」対象です)

※お手元がない場合は右記二次元コードよりダウンロードできます。印刷・製本してご持参ください。

平和パスポート
ダウンロードはこちら



(7月15日公開)

13:00~15:00

市民文化センター2階

けんしゅうしつ
研修室②

てやまともきしじしゅせいさくえいが じょうえいかい
「出山知樹氏自主制作映画の上映会」

: 8/4(月)「明子」

: 8/5(火)「ヒロ子の日記」

: 8/7(木)「運命の背中」

せきすう かぎ
*席数に限りがあります

8/4(月)13時~

上映:約40分間

プラス 交流会

めいこ
明子

被爆者である母のこと
—南方特別留学生との友情—

英語字幕あり
a subtitled movie



栗原明子さん

原爆投下直後の絶望の中で出会った南方特別留学生※たち
彼らとの絆が、明子に未来を生きる力を与えました

広島で暮らしていた19歳の明子は、1945年8月6日、原爆によってその運命を大きく変えられました。戦争の悲惨さに直面し、混乱と不安の中にいた彼女が出会ったのは、南方特別留学生たちでした。異国から広島に留学していた彼らは、同じ被爆体験を共有しながら明子を励まし、生きる希望を与えてくれました。絵本は、明子さんが体験した原爆の悲惨さと友情の力を温かな絵と文章で描き、未来へ平和のメッセージを伝えます。さらに、映画では、絵本を原作に、明子さんのインタビューや貴重な資料映像を交え、より深くその思いに迫ります。絵本と映画、それぞれの形で語られる物語を通じて、戦争の悲惨さや平和の大切さについて一緒に考えてみませんか？

戦争は決して始めてはいけません！私の体験や言葉で、より多くの人々が、原爆がどんなに忌まわしいものか、平和に生きることがどんなに大事かを感じてくださったら幸せです…

「あの日を思い出したくない」
壊されそうになった原爆ドーム…
一人の少女が人々の心を動かした

「ヒロ子の日記」

~原爆ドーム保存秘話~ 【48分作品】

(キャスト) ヒロ子…高口春月 岩本義江…有保ゆみみ
土産物屋の男…井原武文 河本一郎…原仲裕三

母キミ子…尾田ようこ ほか

(出演) 浜井順三 三上肇子 寺田正弘 中村秀次 田村純子
黒瀬真一郎 (脚本・監督) 出山知樹

8/5(火)13時~

上映:約40分間

プラス 交流会

8/7(木)13時~

上映:約40分間

プラス 交流会

『運命の背中』

【story】

昭和19年9月。広島県北部の山間に住む生美(いきみ)に縁談が持ち込まれた。相手は清(きよし)という青年。見合いを終えて帰る後ろ姿をみて生美の表情が一変する。「あの背中なら一生私を守ってくれる——。」

2人は夫婦となった。

絵本で知る、映画で感じる。平和へのメッセージ

めいこ

明子

被爆者である母のこと
— 南方特別留学生との友情 —



栗原明子さん

原爆投下直後の絶望の中で出会った南方特別留学生※たち
彼らとの絆が、明子に未来を生きる力を与えました

広島で暮らしていた19歳の明子は、1945年8月6日、原爆によってその運命を大きく変えられました。戦争の悲惨さに直面し、混乱と不安の中にいた彼女が出会ったのは、南方特別留学生たちでした。異国から広島に留学していた彼らは、同じ被爆体験を共有しながら明子を励まし、生きる希望を与えてくれました。絵本は、明子さんが体験した原爆の悲惨さと友情の力を温かな絵と文章で描き、未来へ平和のメッセージを伝えます。さらに、映画では、絵本を原作に、明子さんのインタビューや貴重な資料映像を交え、より深くその思いに迫ります。絵本と映画、それぞれの形で語られる物語を通じて、戦争の悲惨さや平和の大切さについて一緒に考えてみませんか？

戦争は決して始めてはいけません！
私の体験や言葉で、より多くの人々が、原爆がどんなに忌まわしいものか、平和に生きることがどんなに大事かを感じてくださったら幸せです…

※太平洋大戦中、日本が「大東亜共栄圏」構想の一環として設立した東南アジア向けの国費留学制度。現在のインドネシア、フィリピン、マレーシア、ミャンマーなどから約200人が1943～44年に選抜され、日本語教育を受けた後、日本各地の大学などで学びました。

明子さんの体験が絵本と映画になりました

絵本：
『明子 被爆者である母のこと
— 南方特別留学生との友情 —』

原作・絵：栗原エミ
ジャンル：絵本
ページ数：46ページ
定価：2,200円(10%税込)
発行日：2024年5月5日
ISBN978-4-9902451-5-3



広島で被爆した明子と南方特別留学生たちとの友情を描いた感動の物語です。戦争で家族を失う悲しみを抱えながらも、人と人とのつながりを通じて見出した希望と生きる力を鮮やかな絵と言葉で伝えます。平和の尊さや友情の力を心に届ける一冊です。

映画：
『MEIKO 被爆者である母のこと
— 南方特別留学生との友情 —』
(2024年作品)

製作：「原爆ドームとヒロシマ」実行委員会
上映時間：40分(英語字幕入りもあり)



©「原爆ドームとヒロシマ」実行委員会

絵本を原作に、明子さんのインタビューや貴重な資料映像を加えた作品です。被爆者・明子と南方特別留学生たちとの出会いを描きながら、戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさ、そして平和の大切さをそっと語りかけます。子どもから大人まで、未来を生きる私たちに優しく問いかける、平和への想いを育む映画です。

ご購入・上映のお問い合わせはこちらまで

企画・編集：五月のさくらプロジェクト

メールアドレス：aokikeiko50@gmail.com

電話番号：080-1932-8646



「あの日を思い出したくない」
壊されそうになった原爆ドーム…
一人の少女が人々の心を動かした

「ヒロ子の日記」

～原爆ドーム保存秘話～ 【48分作品】

(キャスト) ヒロ子…高口奈月 岩本義江…有保ゆみあ
土産物屋の男…井原武文 河本一郎…原仲裕三
母キミ子…恩田ようこ ほか

(出演) 浜井順三 三上栄子 寺田正弘 中村秀次 田村純子
黒瀬真一郎

(脚本・監督) 出山知樹

【イントロダクション】

平和の象徴であり被爆の事実を伝え続ける広島原爆ドーム。
保存されることになったきっかけは一人の少女だった…。
2021年12月、世界遺産登録から25年を期に原爆ドームに
どのような人々の思いが込められたのかをドキュメントと
ドラマで描く映像作品。映画は当時を知る人たちの証言や
写真、平和記念公園で撮影されたドラマを通して
原爆ドームの物語を3部構成で伝えていく。

【STORY】

【第1章 原爆ドームの歩み】原爆ドームが世界遺産に登録されるまでの物語を当時の写真や記録、証言でつづる。

【第2章 伝えたいこと (ドラマ)】2021年12月、家族で広島を訪れた一人の中学生の少女・岩本儀江
(いわもとよしえ)が平和記念公園で、次々に不思議な人たちと出会う。原爆ドームがなぜ広島に残されたのか。
彼女は徐々にその理由に気づいていく。そして最終章、すべてが明らかになる。

企画・制作 「原爆ドームとヒロシマ」実行委員会 (genbakudomehiroshima@gmail.com)

ヒロシマ平和映画祭2011プレ
特別招待作品

『運命の背中』

【story】

昭和19年9月。広島県北部の山間に住む生美（いきみ）に縁談が持ち込まれた。相手は清（きよし）という青年。見合いを終えて帰る後ろ姿をみて生美の表情が一変する。「あの背中なら一生私を守ってくれる———。」

2人は夫婦となった。

翌年の昭和20年8月6日。2人が住んでいた広島市に原爆が投下される…。

（2009年12月完成 40分作品 監督 出山知樹）

◇製作にあたって◇

この物語は、数奇な運命をたどりながら原爆投下後の広島を生き抜いたある夫婦の姿を描いています。

「映画が作りたい！」その一心で、広島の皆さんにご協力をお願いしました。配役、ロケ地の設定、エキストラのお願い、音楽、機材、衣装や小道具の調達など、あらゆる難題が降りかかってきましたが、広島フィルムコミッションを始め、三次や竹原、東広島の市民の皆さんにご協力いただきながら、5日間という限られたスケジュールで何とか一つの作品に仕上げることができました。

最近になって発見された戦前の広島市街の綿密な写真をご提供いただき、白黒から当時の色彩そのものに専門家がデジタル復元するなど、CGや模型の制作には、共に映画製作を目指してきた長年の友人が取り組み、まったくの手弁当ながらワンカット、ワンカット心を込めて撮影したつもりです。

広島パワーが結集した「運命の背中」。
ぜひご覧ください。

運命の背中制作プロジェクト
代表 出山知樹

撮影 松本若次





賀茂高生とふりかえる 「平和学習バス」報告・交流会

日時：8月6日（土）13時00分～15時00分

会場：東広島市市民文化センター 2階 研修室②

賀茂高等学校は 2026（令和 8）年に創立 120 周年を迎えます。これからも誠実に平和を希求し、戦争・原爆体験の継承活動に取り組みます

 広島県立賀茂高等学校

<https://www.kamo-h.hiroshima-c.ed.jp>

 賀茂高生の平和活動はこちらから

<http://pebeh.net/report.html>



 今年で 4 回目となる「平和学習バス」のガイド役
その準備と実施当日の様子を報告します



 「平和とは？ 私たちにできること！」をテーマに
参加者の皆さんと語り合いました



テツ解決コーナー」へは子どもたちから歴史に関する質問がたくさん寄せられています
そこで・・・家族で、友達同士で、意見交換をしながら歴史を考える場を作ってみました

受付でテツの
スタンプをも
らってね

8/1(金)～7(木)

げんばくひばくしりょうてんじしつ
原爆被爆資料展示室(サンスクエア図書館となり)

第37回原爆展 企画展示



せんぞう れきし わたし みらい かんが
「戦争の歴史から私たちの未来を考えよう」

10:00～17:00(8/7は16:00まで)



*****テツの解決コーナー」へよせられた子どもたちのこえ*****

・ **なんで戦争が始まったの。**

テツ：国同士の話し合いが決裂し軍力で解決しようとしたのが戦争の始まりです。国民は政府の行っていることをしっかりと見ることが大切だと思います。

・ **原爆はなぜ広島と長崎に落とされたのでしょうか。**

・ **日本は何をして原爆を落とされたのですか。**

テツ：当時諸外国もですが、日本も戦争をして外国にもたくさん迷惑をかけていました。わかりやすい歴史展示にしています。

・ **原爆が落とされた本当の意味は学校では教えてくれないです。**

テツ：「広島平和資料館ハンドブック」を示す。(なぜ原爆を使用したか)
もっと考えられる展示を用意しますね。

・ **なんで爆弾落ちたの。**

テツ：爆弾はいきなり落ちてきたわけではありません。日本が戦争をしていたので、日本も敵の国も両方が爆弾を落としていました。

・ **大日本帝国は、なぜ核を落とさないといけない戦争をしてしまったの。**

テツ：大日本帝国とは、太平洋戦争までの帝国主義・軍国主義だったころの日本のことです。その頃は、アジアの国々を支配するために戦争をしていました。原子爆弾(核兵器)は当時の新兵器で、使うのをやめようという人がいませんでした。今の時代に、判断できる人間でありたいものです。

・ **世界でおきている戦争はいつ終わるのですか。日本にまた爆弾が落ちてくると考えると怖いです。**

テツ：展示室の世界地図にあるように世界中に争いが起きています。ウクライナやガザのように大きな暴力で街を壊し人々を殺し、争いはひどくなるばかりですね。しかし、放っているのではなく話し合いで解決しようと努力している大人も世界にはたくさんいます。あなたは、よその国の争いに関心を持って自分のことと同じように心配していますね。あなたは解決する力を育てていける人だと思います。

原子爆弾のことを核兵器と呼びます。核兵器を禁止しようという力は一年一年強くなっています。核兵器を嫌う人たちが世界では多いのです。なので、核兵器を使おうとする人は世界中からの信頼をなくしてしまうでしょう。怖がる必要はないとテツは考えています。

・ **戦争は相手から仕掛けられたら自国ではどうしようもないけど、国を守るためにできることはあるの。**

テツ：戦争を他国から仕掛けられないために努力が必要でしょう。*国ができる事…政治的外交 *一人一人ができる事…他国の人との交流や対話、理解しようとする姿勢。こうして良好な関係を持続させることが大切でしょう。

・ **どうして戦争はおきたの？**

テツ：今年の企画展を見に来てくださいね。

8/1(金)~7(木)

市民文化センター2階展示コーナー(展示室のとなり)

「新生学園の歩みパネル」「平和学習バス報告パネル」「出前講座報告パネル」

***受付**でスタンプを押ししてもらいましょう 10:00~17:00 (8/7は16:00まで)

「新生学園の歩みパネル」



西条町田口にある広島新生学園の原点は原爆投下にあります！被爆後の広島に、行き場もなくあふれていた孤児たちを見捨てておけず孤児収容所を立ち上げたのが初代園長の上乗頼登先生でした。



広島にあった頃の学園

賀茂高生さんの
解説がある
かも

7月25日(金)に第39回平和学習バスに行ってきました！
賀茂高校生さんがスタッフとなって今年で4年目です。
当日の様子を6班がパネルで報告してくれます。



「平和学習バス報告パネル」



「出前講座報告パネル」



東広島市内の小、中学校へ、「出前講座」に出かけています。
被爆者からの伝承や、東広島地域の戦争体験など、身近なところから過去の史実を知り、今を見て、将来に向けて平和の獲得を考えられるようなお話をしています。

～申込みは市役所総務課まで

**** 昨年の御園宇小学校の様子 ****

平和パスポート ^{ほん ひろ へいわ} 本から広がる平和

しんさく
新作!



よかったら読んでみてね!

医師みたにゆうきさんデビュー作

青年医師のみたにゆうきさんはまっすぐに被爆者^{ひばくしゃ}をみつめ、あたたかい心^{こころ}でお話^{はなし}を書かれています。QRコードから読んでみてね。

「つなぐ」

被爆・終戦 80年

『きのこ雲と、フラッシュバック』

ヒロシマ生まれ・ヒロシマ育ち・被爆3世の医師が

意を決して小説を書きました

被爆地ヒロシマで医療に向き合う中で、多くの被爆者はもちろん自分自身の家族や周りの人々から教えていただいた数多くの言伝を自分なりに伝えたい。そんな思いを込めて執筆しました。広島大学の原爆放射線医科学研究所や被爆伝承者の方々のおかげで何とか形にすることができました。この小説が、ヒロシマへ思いを馳せるきっかけになれば幸いです。

広島大学病院 三谷 雄己



▲小説はこちらから無料で読めます



▲執筆の経緯や過程を読めます

パスポートに感想を
書いてみよう！

平和パスポート ほん ひろ へいわ 本から広がる平和



よかったら読んでみてね！

*** 中学生のみなさんへ ***

「絵で読む 広島原爆」



文 那須正幹
絵 西村繁男
1995/3/31 福音館書店

「原爆を描いた児童書は、これまでも数多く出版されていますが、そのほとんどが個人の被爆体験をもとにしたもので、市内全体の被爆状況や、原爆の原理、開発や投下に至る歴史的経緯、あるいは被爆以後までを網羅するには、限界があるように思いました。」
～あとがきより

「光のうつしえ 広島 ヒロシマ 広島」



作 朽木祥
2013/10/11 講談社

「心にいつまでも刻もうと思う。いなくなった人たちのこと、なぜそんな途方も無いことが、起きたかということも」～表紙より

「パンプキン！ 模擬原爆の夏」



文 令丈ヒロ子
絵 宮尾和孝
2011/7/26 講談社

「調べれば調べるほど、いろんな立場からの意見を知り、ヒロカが『ようまとめん』と自由研究を投げ出しそうになったのと同じ気持ちに。事実を知っていたきたいという原点に戻って、なんとか本にまとめることができました。」
～あとがきより

「『くうき』が僕らを呑みこむ前に」



作 山田健太
たまむらさちこ
2023/1 理論社

「毎日『くうき』を読んで少しずつ無理しているきみへ。自分の頭で考えれば、違う世界が見えてくる」～表紙見返しより
学校でも職場でも集団の中では気を遣う事も多いですね。集団の中で『くうき』を読んで波風を立てない事が、果たして〇なのでしょうか・・・
『くうき』を読んでいるだけだと『くうき』に操られ、気付いた時には加害者になっているかも

パスポートに感想を
書いてみよう！

平和パスポート 本から広がる平和



よかったら読んでみてね！

小学生のみなさんへ



「絵で読む 広島原爆」

文 那須正幹
絵 西村繁男
1995/3/31 福音館書店

「原爆を描いた児童書は、これまでも数多く出版されていますが、そのほとんどが個人の被爆体験をもとにしたもので、市内全体の被爆状況や、原爆の原理、開発や投下に至る歴史的経緯、あるいは被爆以後までを網羅するには、限界があるように思いました。」
～あとがきより



「犬やねこが消えた」

文 井上こみち
絵 ミヤハラヨウコ
2008/8/1 学研

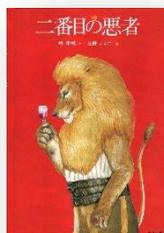
「戦争が終わって六〇年以上もたった現在、動物の犠牲の話は、『どうしてそんなことが行われたのか理解できない』といわれてしまいます。戦争中は、国が戦争に勝つためには、自分たちも犠牲をいとわないという態度をとることがよい国民なのだと言われた時代でした。」
～あとがきより



「パンプキン！ 模擬原爆の夏」

文 令丈ヒロ子
絵 宮尾和孝
2011/7/26 講談社

「調べれば調べるほど、いろんな立場からの意見を知り、ヒロカが『ようまとめん』と自由研究を投げ出しそうになったのと同じ気持ちに。事実を知っていただきたいという原点に戻って、なんとか本にまとめることができました。」
～あとがきより



「二番目の悪者」

作：林 木林
絵：庄野 ナホコ
2014/11/26 小さい書房

「これが全部作り話だと言いつけるだろうか」
「考えない、行動しないという罪」～帯紙より
昔々のおとぎ話のようで、実は現代に生きる私たちへのするどい指摘が心に刺さる内容です。
小さなことでも考え、人の意見にも耳を傾け、一方的に決めつけない、流されない・・・子どもたちにはそんな経験を積んで成長してほしいと願います。

被爆80年PeaceWeek企画

平和パスポート対象講座

原資協ユースメンバー &

東広島市教育文化振興事業団

共同企画イベント



「みんなで

平和のタネを

みつけよう」

被爆80年を迎え、被爆体験伝承者の講話や原資協ユースメンバーによる東広島市の80年前の出来事等のお話を聴き、様々な世代の人と平和について考えます。

お申込みは
こちらから→
(Googleフォーム)



日時 **9月6日(土)**
13:30 ~ 15:30

場所 **東広島市市民文化センター研修室2** (東広島市西条西本町28-6)

対象 **小学生以上**

定員 **20人** (申込多数の場合は抽選)

※締め切り後抽選を行い、参加決定者のみ通知をさせていただきます。

締切 **8月20日(水)**

申込方法 **Googleフォーム**または、メール、FAXに次の内容を明記して、お申し込みください。

(①講座名 ②郵便番号・ご住所 ③お名前(ふりがな) ④学生の方は学年
⑤電話番号 ⑥メールアドレス)

7月～11月のどこかで

げんぱくひ ぼくしりょうてんじしつ でまえてんじ
原爆被爆資料展示室 出前展示



せんご しゅうねん せんぞう げんぱく まち てん
「戦後80周年 戦争・原爆とわたしたちの町パネル展」

しりつとしょかん ぜんかん いちぶちいき
市立図書館(全館)、一部地域センター

まどぐち
窓口でチェックをしてもらいましょう

(高屋館は自分でサインしてください)



てんじたいしやう 展示対象の まち 町	しりつとしょかん 市立図書館	てんじまかん 展示期間	ちいき 地域センター	てんじまかん 展示期間
はちほんまつ 八本松町	中央図書館	9月11日～ 10月2日	吉川地域センター 平岩地域センター	月 日～ 月 日 7月17日～9月15日
し わ 志和町	中央図書館	9月11日～ 10月2日		
さいじやう 西条町	中央図書館 サンスクエア児童 青少年図書館	9月11日～ 10月2日 8月2日～ 9月4日	御園宇地域センター	月 日～ 月 日
くろ せ 黒瀬町	黒瀬図書館	7月5日～ 7月26日		
ふく とみ 福富町	福富図書館	8月2日～ 10月2日		
とよ さか 豊栄町	豊栄図書館	8月1日～ 8月19日		
こ うち 河内町	河内こども図書館	8月2日～ 9月4日		
あきつ 安芸津町	安芸津図書館	8月2日～ 9月4日		
たか や 高屋町	高屋図書館 *自分でサインしてね	7月23日～未定 決まり次第 お伝えします		